

<事業計画申請時>

【課題】

熊本の食品産業は、台湾市場の消費者嗜好や競合情報が不足しており、市場適応や商品改良が課題となっている。特に醤油などの加工食品では、競合商品の成分や特長を把握し、自社の強みを活かした改良が必要。また、輸出手続の複雑さも事業者の障壁となっており、専門家や支援機関との連携による支援体制の構築が求められる。

【目的】

・熊本県の食品産業の台湾市場への販路展開を実現するため、市場調査や競合分析を通じた商品改良支援、成分分析や物流などの輸出手続の課題解決を支援し、持続可能なビジネスモデルを構築する。

・専門家や熊本・台湾の支援機関等と連携し、県内食品関連事業者の台湾市場進出を促進するための支援体制を構築する。

【都道府県の施策との連携・親和性】

本事業は、「熊本県産業成長ビジョン」に掲げるライフサイエンス分野の新産業創出や海外展開の促進(新たな市場における販路開拓の支援や台湾等の企業団体との交流機会の提供)の方向性と合致。同ビジョンの重点指標である「海外企業との商談件数250件(R12年)」に貢献。

✓ 地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組に該当する場合は、チェック ☒ してください。

【本事業の内容】

1 大阪万博での市場調査の実施(B事業)

大阪万博での台湾ブースや関連イベントを訪問し、専門家の助言を受けながら訪日台湾人やバイヤーのニーズを調査。調査結果を基に課題を整理し、商品改良等の台湾市場進出に向けたアクションプランを構築する。

2 日台支援機関等関係者連携会議の実施(B事業)

台湾市場に精通した専門家や熊本・台湾の支援機関、県内食品関連事業者等を集め、台湾市場の文化、嗜好、物流、商標などの具体的課題を共有し、課題解決に向けた支援策等について関係者間の合意形成を図る場を形成する。7回/年程度を想定。

3 食品機能性に関する日台交流ミッションの実施(B事業)

食品機能性に関する特色のある台湾の優良食品企業を招聘し、熊本・台湾それぞれの企業によるプレゼンや各支援機関の取組説明(セミナー)や交流会、企業、専門家等との食品機能性に関する意見交換、企業視察等を実施する。2回/年程度を想定。

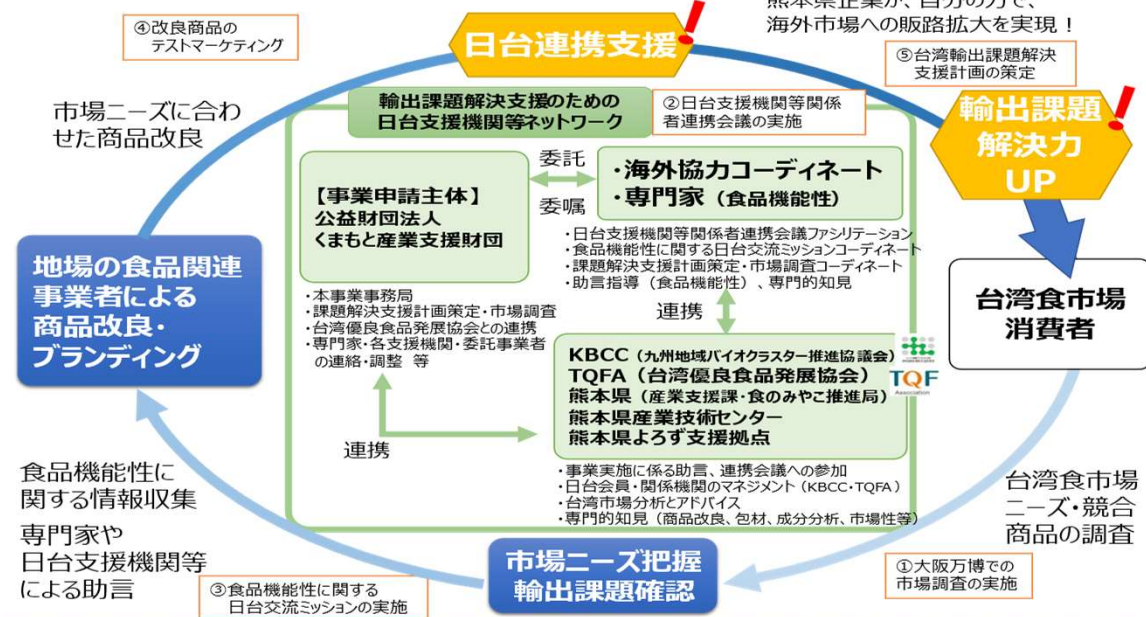
4 改良商品のテストマーケティング(B事業)

改良した商品を台湾市場でテストマーケティングし、調査結果を基にした商品改良案を県内食品関連事業者フィードバックする等、商品改良を支援する。

5 台湾輸出課題解決支援計画の策定(B事業)

調査、会議、テストマーケティングの成果を総括し、台湾市場における競合商品や輸出手続きの障壁(物流、商標、成分分析等)を再評価するとともに、輸出課題解決計画を策定し、県内食品関連事業者と共有する。

様々な輸出課題をクリアし、熊本県企業が、自分の力で、海外市場への販路拡大を実現!



【成果目標】

- ・改良商品をテストマーケティングした事業者の支援件数 **10件/年**
- ・令和7年度終了後
- ①輸出課題解決支援計画の策定件数 **1件**
- ②輸出課題の解決率70%以上件数 **5件**

【波及効果】

・本事業の実施を通じて、熊本県の食品産業が台湾市場をはじめとする海外市場への販路拡大を実現し、地域全体の活性化を図る。また、本事業の成果は、中期的な効果として地域産業の競争力強化や事業者の経済基盤の拡充、長期的には地域のブランド価値向上や持続可能な産業構造の形成へと繋がる。

・本事業を通じて、熊本県が「地域資源を生かした国際的な食品産業拠点」として成長し、地域経済の持続的発展と地域住民の豊かな暮らしを実現することを目指す。

【将来の支援目標】

本事業の成果を受けて創出された「輸出課題解決を継続してでき、能動的に台湾市場を目指して商品開発及び販路開拓を行う熊本県企業」への将来の支援目標は以下。

- ・課題解決支援計画に基づく支援により商談した件数 **5件/年**